

優秀賞

あついたら命がある

茨城県 ひたちなか市立外野小学校五年 菊池 ひなた

私のお母さんは「いばらきPUSH」という団体で、心肺蘇生・AEDを学校に広める活動をしています。お母さんが活動を続けていると、私も心肺蘇生法について詳しくなってきました。

そこで知ったのが、お母さんがいばらきPUSHに入るきっかけにもなった桐田明日香ちゃんのことでした。さいたま市の桐田明日香ちゃんは、駅伝の千メートル走の練習のときに心肺停止で倒れて、私と同じ十一歳のときに永遠の眠りについてしまいました。明日香ちゃんの死をきっかけに始まったのが「ASUKAプロジェクト」です。お母さんはこの明日香ちゃんの話聞いて、同じような悲しみをくり返さないように自分にできることをやろうという思いから活動を始めたそうです。

明日香ちゃんは、倒れたとき周りに人がいたのに、心肺蘇生やAEDが使われませんでした。一番おど

ろいたのが明日香ちゃんの学校の先生たちは三か月前に心肺蘇生のこう習を受けていて、明日香ちゃんには心肺停止のサインである苦しそうなきゅうをしいたのに、誰一人、気づくことができなかったことです。使われれば命を助けることができた確りつがあるAEDは保健室においてあっただけでした。そのことに私もショックを受けました。

また、私のひいおばあちゃんは一度、心停止で倒れてしまいました。その場にいあわせたおばあさんがきょうこつ圧迫をきゅう急隊に電話で教えてもらいながら、一生けん命やった結果、ひいおばあちゃんは助かりました。お母さんに聞いたことはあったのですが、実際、知っている人が倒れることはなかったのでびっくりしました。

私は、去年の夏休みに、自分の家の近くでどこにAEDがあるのかを弟と一緒に調べてAEDマップ

を作りました。私の家から一番近いAEDは学校でした。学校までは走っても往復約十分かかります。もし方が一、家族の誰かが倒れてもAEDを使うのには間に合いません。私たち家族は、水戸市ではすべてのコンビニにAEDが設置されていることを知って、ひたちなか市のコンビニにもAEDをつけてもらえるようにひたちなか市に手紙を出し、お願いしました。みんなの家の近くにAEDがふえると思います。

私もたくさんの人にAEDやきょうこつ圧迫を知ってもらいたいと考えています。そうすれば、明日香ちゃんのように夢をもち、これから何年も生きていくはずの命をすくえるようになると思うからです。いつか私も伝える立場になり、その輪が広がって、AEDやきょうこつ圧迫について知っている人がふえたら、みんなが素早く行動して、誰かの大事な人の命がつながると思います。誰かに教えることですくえるように、これからも勉強を頑張りたいと思いました。

